

ユニフォームの一新が働き方の 新しいスタイルを作り上げることに繋がりました

2024年7月、「Uniform Circus BEAMS（ユニフォーム サーカス ビームス）」よりデビューしたケアウェアシリーズ。今回、ユニフォームのリニューアルに際し「Uniform Circus BEAMS」を採用いただきました、福岡県の介護施設「テラシス桜花」さんに、採用に至る経緯や感想などを伺いました。



“介護のチカラで未来に笑顔を”

博多湾を望む自然豊かなベイエリアを歩いていくと、おしゃれなカフェのような建物が目の前に現れます。福岡県西区に位置し、住宅型有料老人ホームからデイサービス、在宅ケアまで、幅広い介護医療サービスを地域に提供している介護施設「テラシス桜花」です。

「テラシス桜花」という名前には、“まるでテラスにいるような明るく開放的な気持ちで、心安らぎ、潤う場所（オアシス）でありたい”との思いが込められています。施設の1Fにはバリスタが1杯ずついいいに抽出したコーヒーやスイ

ーツ、フードが楽しめる、自社が運営するカフェレストランが併設されており、周りはいつも心地よい香りと行き交う人たちの笑顔が醸し出すおだやかな時間が流れています。

「テラシス桜花はケアプランセンターを保有し、ここにケアマネジャーが常駐していることで、利用者様ひとりひとりのニーズに合った様々なサービスが提供できる体制が整っている事が特徴です。“介護のチカラで未来に笑顔を”の理念のもと、利用者様、そして寄り添うスタッフの毎日が笑顔で満ちた日々であるよう、チーム一丸となり前に進んでいくことが大切だと考えています」（所長 石堂さん）

テラシス桜花さんは2024年10月にスタッフのユニフォームを一新しましたが、久しぶりにユニフォームを一新した背景をお聞きました。

「従来のユニフォームは施設開設時に採用したもので、すでに10年が経過していました。10年という歳月の中で、介護事業を取り巻く環境や介護スタッフに対する考え方に大きな変化が起きました。当施設としてはこのような環境の変化に適応していくことが大切であると感じていたので、スタッフのモチベーションに直結するユニフォームについてもゼロベースで見直すことを決めました」（スタッフ 磯谷さん）

ユニフォームをリニューアルするにあたり、動きやすさなどの機能性を求めるのはもちろんのこと、介護施設でよく見かけられる定番コーディネートにはしたくないとの思いが強かったようです。実際に検討する時には責任者だけでなく、現場スタッフの皆さんも積極的に参加され、ブランド説明から商品の試着まで時間をかけて、新しいユニフォームを選んでいただきました。



ユニフォームに合わせて働き方を見直した結果、 新たなスタイルを作り上げるきっかけに

介護スタッフユニフォームは他のユニフォームと異なり、主な作業を行う屋内での着用を想定するだけでなく、外出時に周りの環境と違和感なく、自然に溶け込めるデザインであることも重要なポイントになるようです。

「新しいユニフォームがビームス監修デザインと聞いた時は驚きました。プライベートで愛用しているブランドの服を職場で着られることにテンションが上がりました（笑）」（スタッフ 藤武さん）

「これまでのユニフォームに比べてシックな色使いが斬新で、幅広い年代のスタッフが楽しく着られることが魅力的でした」（スタッフ 坂井さん）

「新しいユニフォームを着ていたら、利用者様とご家族から“新しいユニフォームカッコイイね！”と言っていたことが本当に嬉しかったです」（スタッフ 森田さん）



一方で、従来のユニフォームとは大きく変わった点もあり、とまどいもあったようです。

「ポロシャツの左胸にポケットが無いことに対して最初は現場スタッフ含め、とまどいを感じました。しかしながら、これがきっかけで、働く際の持ち物や収納場所、作業内容や導線が正しかったのかを見直す機会となり、結果として新しいスタイルを作り上げることに繋がりました」（スタッフ 磯谷さん）



ユニフォームを一新することで施設のイメージアップを図っていくことにとどまらず、自分たちの仕事の在り方を見つめなおし、現在（いま）を肯定するだけでなく、変化を柔軟に受け入れていく姿勢に、テラシス桜花のスピリットを感じました。着る人の笑顔が地域の未来を創る。新たな発想を胸にこれからも歩みを止めず進化し続けるテラシス桜花の姿に注目です。



Information
テラシス桜花
〒819-0002
福岡市西区姪の浜2丁目28-43
<http://terrasys-ohka.jp>